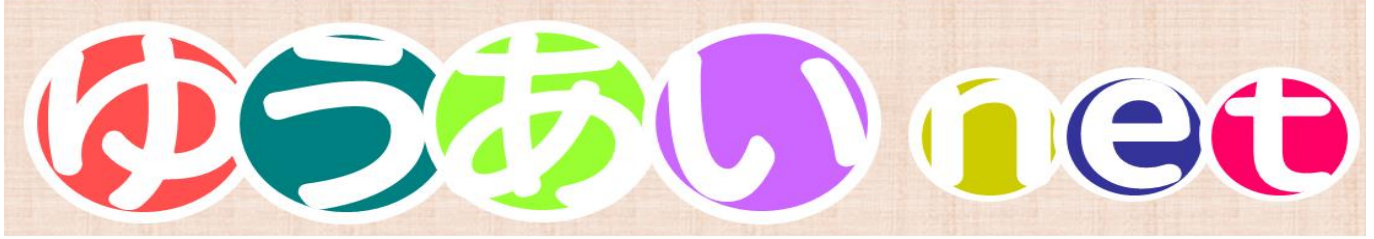


佐賀県の視覚障害教育を結ぶ



今月は積雪のため、始業時間を遅らせたり、休校になったりした学校もあったようです。先生方の配慮で、子どもたちは安全に登下校できたことだと思います。

さて、2月も終わり、もうすぐ3月です。中学校では、県立高校の一般入試等を控えて、生徒たちの健康面が気になるところです。また、3月の大きなイベントである卒業式に向けての準備も進められていることでしょう。

はやりの病気に気をつけて過ごしていきましょう。

来年度に向けた引継ぎについて

児童生徒が安心して学習できるためにも、引き継ぎはとても大切なものです。しかし、「何をどれくらい伝えればよいかわからない」といった声も聞きます。そこで今回は引き継ぎのための資料にスポットを当ててみたいと思います。

まず、既存の資料をいかしましょう。

○個別の教育支援計画

○個別の指導計画

(取り組んできたことをできるだけ具体的な言葉で書くと、より伝わるかと思います)

○通知表の控え(コピー)

○見え方に関する実態(保健室と連携して準備)

○教育課程

○学習状況の記録

(視覚補助具の使用状況や使用方法、配慮事項やその手立て、学習進度やテストなどについて)

弱視学級担当の先生方や保健室で、見え方やその他の実態についてまとめられた資料は重要な引き継ぎ資料になります。引き継ぐ内容や形式は児童生徒や学校の状況等で変わってくると思います。ただ、次に担当される方が対象の児童生徒や視覚障害教育に携わられたことがないことを前提に作成されると、どんな方が担当されても困られないのではないかと思います。

また、できるだけ引き継ぎは新旧の担当者同士が顔を合わせて行うのが良いのですが、難しい場合は特別支援教育コーディネーターや学年主任、交流学級の担任、管理職などに協力してもらい、次の担当者にきちんと伝えられるようにしておきましょう。資料を1つにまとめてファイリングし、異動されない他の先生を通して渡す方法も良いと思います。

進学して校種が変わる場合も、最近は引き継ぎをする場を設けることが多くなっています。必要であれば保護者にも協力を仰ぎ、スムーズな接続ができるようにしましょう。また、盲学校が参加することも可能です。連絡をいただければ、調整しますので遠慮なくご連絡ください。

弱視児童生徒の指導に役立つアプリについて

教育の情報化が進み、どの学校にも電子黒板やタブレット端末が導入されるようになってきました。しかし、弱視の児童生徒に有用な機器やアプリはなかなかわかりにくいものがあります。

今回、指導に役立つかもしれないアプリなどの紹介をします。

基本的にipad で使えるアプリを紹介していますが、無料のため、機能の制限があったり、広告が入ったりすることもあります。指導で使われる前に必ず検証をしてください。また、ウイルス等についても十分留意してください。

使用機器	アプリ名	機能など
ipad iphone	目に優しいルーペ 	・iPhone/iPad を虫眼鏡／拡大鏡として使用できます。 ・1タップで高速にフォーカスをロックできます。 ・画面のタップで周囲表示のサブ画面が表示されます。 ・横持ちならば親指だけで操作できます。 ・ボタンを端に寄せて、広い視野画面を確保しています。 ・iPad であれば非常に大きな画面で閲覧できます。
	明るく大きく 	・読みにくい文字を、「明るく」、「大きく」、「くっきり」と表示することができます。 ・白内障や弱視などの人の読みやすさ向上のために、黒字に白などで表示する「明度反転」モードや、表示色を限定する「モノクローム」モードを備えています。 ・斜め上から本などを読むときに、歪みを補正して読みやすくする「斜め上から補正」をサポートしました。 ・ぼやけながらも遠くを見るための単眼鏡的な使い方をするため、最大20倍までサポートしています。
	TapTapSee - 視覚障害者向け画像認識カメラ 	・TapTapSee は、視覚障害者が物を識別するのを補助する目的で開発されました。 ・識別したい対象にカメラを向け、画面を2回タップして写真を撮ると、それが何であるか音声で読み上げます。(注: 音声での読み上げを有効にするため、本体の設定で VoiceOver を有効にしてください)
	色のめがね 	・「色のめがね」は、色覚異常などが原因で、色が見えにくい、色を見分けにくい人のための色覚補助ツールです。 ・「色のめがね」は、スマートデバイスのカメラとスクリーンを使用し、科学的な理論に基づいた手法により、見えにくい色の一部をリアルタイムに見えやすい色に変更した上で、オリジナル画像と交互に表示することによって、色をわかりやすくします。

使用機器	アプリ名	機能など
ipad iphone	SmartBrowser 	・「SmartBrowser」は、日本語ホームページを読むための様々な便利な機能を満載した、新しいタイプのブラウザアプリです。 ・スマートブラウザは、Web ページの日本語文章にルビ（ふりがな、読み仮名）を付けたり、拡大表示したり、色づけをしたりすることで、読みやすく表示できます。HP の本文のみを自動抽出して拡大表示する機能、簡単に辞書引きする機能などもあります。
	日用視野測定 	・iPad と本アプリを利用することで、机上・黒板・運動場・体育館等のあらゆる場面で子どもの見え方を測定できます。どんな場所で見えにくくなるのか、どんな色が見えやすいのか、どんな配色が見えやすいのか、そのような「見え方」に関する教育的評価を行うことで、子どもの見え方に応じた教育的配慮を具体的に検討することが可能になります。そんな学習環境の構築や生活環境の構築のために本アプリは役立ちます。
	日用視力測定 	・どのくらい細かなものを見分けられるかを測定するためのツールです。本ツールは、どのくらいのサイズの文字や数字をどのくらいの範囲で見ることができるのかについて測定することができます。 ・行を飛ばして読んでしまう、漢字を部分的に見間違えてしまう、地図内を検索することが苦手といった児童生徒の見える範囲を、本ツールを利用して測定しその困難の様子を探り、特別支援に生かすことができるようになります。
	DropTalk HD Free 	・DropTalk HD Free は、話し言葉でのコミュニケーションを苦手とする、自閉症や言語障害を持つ方のコミュニケーションを助ける AAC（補助代替コミュニケーション）ソフトウェアです。 ・自閉症などの発達障害をもつ方々のコミュニケーションには、シンボルなどの視覚情報を用いることや、シンボルと音声を合わせて表出できる VOCA と呼ばれる機器を使用することが有効です。DropTalk は、多彩な機能を提供する VOCA アプリです。 ※視覚障害向けアプリというわけではありませんが、実態によっては役立ちます。
	いーリーダー 2 分版 	・「いーリーダー」は読むことに困難のある子供を支援する特別支援教育向け DAISY 再生アプリです。 ・DAISY（デイジー）はハイライトされたテキストと音声同期して再生されるため、紙の教科書・教材を読むことが困難な子供にとって「読むこと」を支援する合理的配慮の一つです。 ※「いーリーダー 2 分版」の再生時間は 120 秒までとなります。

佐賀県立盲学校

電話 (0952) 23-4672

FAX (0952) 25-7044

代表メール mougakkou@education.saga.jp

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。